

横田基地問題を考える会

ニュース NO. 8

連絡先 電話&FAX 0428-22-6273
ホームページ アドレス
yokota-peace.sunnyday.jp

横田基地撤去への確かな、第三步、に向けて

「10・9沖繩」とともに声を上げよ

う 横田基地もいらない！市民交

流会」に620名が参加

(映画会に350名、デモは450名)

おかげさまで「10・9沖繩」とともに声を上げよう

横田基地もいらない！市民交流集会 は成功しました！

今年3月の「3・20横田基地もいらない！市民交流の集い」に続き、10月9日に、福生市民会館大ホールで開かれた「10・9沖繩とともに声をあげよう 横田基地もいらない！市民交流集会」は、豪雨にもめげず、多数の市民が参加して、以下のような成果を上げることができました。

○午前の基地めぐり

約25名が参加―「千葉から囲碁九条の会」の人も参加

○午前の映画「流血の砂川」

上映会

予想を遙かに上回る350名が観賞

(「よかった」の声しきり)

○午後の集会 【講演】

620名が参加。滝本匠さん(琉球新報東 京報道部記者)の約1時間半の講演で、本土のマスコミがいかに沖繩の状況をゆがめて報道しているか

を詳しく明らかにした。

【横田基地反対の取組の報告】

報告1「九条の会・あきしま」(どうして九条の会が横田基地問題の学習をするようになったか)

報告2「横田基地の撤去を求め西多摩の会」(昨年四月からはじめた毎月第3日曜の座り込み行動の反響について)

報告3「横田・基地被害をなくす会」(横田基地所属米兵の子どもが道路にロープを張って武蔵村山の若い女性に障害を与えた刑事公判の経過など、熱心に聞き入りました)

「10・9横田基地もいらない！市民交流集会」に参加して

金子しず江

10月9日(土)土砂降りの雨の中、福生市民会館で行われた横田基地の集会に参加しました。

午前中が映画「終結の記録砂川」の上映で、午後は

◆会場でのカンパ約21万円があつまりました。
◆集会後のデモ行進に豪雨の中450名が参加。
(盛岡暉道)



琉球新報記者滝本匠さんの記念講演や活動報告、その後デモ行進という3部構成で、600人以上の参加者がありました。

午前の映画「砂川」は、アメリカ軍の大型機離着陸のための滑走路滑走路を延長するための土地測量に抵抗した農民や支援者の活動実録です。(2面に続く)

(一面からつづく)

体を張って壁になり平和的に抵抗を示す農民らに対し、測量を擁護する警官隊が警棒で殴打し、また、救急車から救護隊員を引きずり下ろすシーンがあるという、警察権力の農民たちに対する生々しい暴行の記録でもあり、また最終的に農民らが畑と共に平和や地方自治を守りきり、土地収用が中止になった歴史的な快挙を記録した貴重な記録でもありました。

午後5時の講演では、滝本さんが「沖縄と本土では基地問題に対する温度差がある」とおっしゃっていました。映画「砂川」の中で、支援に駆けつけた沖縄の人が「沖縄では土地収用にブルドーザーが来て破壊し、畑は焼き払われた」というコメントを残しています。東京の砂川では警察隊も警棒でたたかれたが、アメリカの施政権下に置かれていた沖縄の状況は更に過酷だったと推測される証言で、この歴史に裏づけされた温度差をどのように縮めていき、共闘していけるのが課題だと思わされる講演でした。また、基地の周辺での座り込みなどの活動報告もあり、地道な活動を継続している方々に頭が下がる思いでした。私は、あきる野市に引越してきて2年ぐらいですが、「近くに基地があるなあ」くらいの認識しかなく、本当に無知でした。その「横田」は、アメリカ軍戦闘司令部第13空軍があり、府中から航空自衛隊総司令部が移転してくるといって、日米一体化した軍事基地の要になるうとしています。地元住民の緩やかな容認論がある中、その空軍の要の「横田基地」を撤廃しようという壮大な目標を掲げ、どのように活動をし、どのようにに社会に訴え、どのようの世論を形成し盛り上げていくのか、正直私なんかは途方にくれてしまいますが……、頭はなくても体は動くので、今後も活動に参加していこうと思つていきます。(八王子合同法律)

横田基地問題を考える会例会
防衛白書・防衛大綱の学習会

「憲法の枠を超えた
新しい国家の危険」
講師 近森 拡充さん

【報告】 清水多恵子

横田基地問題を考える会は11月の例会で、同会会員で日本平和委員会の若手の調査研究員である近森拡充さんに「防衛白書」「新防衛大綱」「新安保防衛懇談会報告」について次のようなお話しを聴きました。

「防衛白書」は、先ず米国の防衛計画の検証ありきで始まり、それに伴い日本の防衛力の整備では、新たに宇宙開利用、情報通信能力の強化などに加え、自衛隊の運用について半分以上を費やし、安保体制の強化、

海外活動改善強化、防衛省・自衛隊と地域社会・国民とのかかわりや防衛生産・技術に関する民間産業などを詳述している。



防衛大綱とは、自衛隊のあり方、軍事力整備の運用の方針を定めたもので、これまでに3回改訂されてきた。自民党・経団連から提言が出されている。中・豪・韓・印などの防衛協力の推進について述べている。

新安保防衛懇談会報告では、従来の「静的抑止」にかえて、高い運用能力による「動的抑止」を重視。自衛隊は多様な国際活動を強める。官民が共通の認識を持ち、防衛生産・技術を高め、武器輸出三原則の見直

し、憲法論からではなくともそも日本はどんな役割を果たすべきから考えることを問題にしている。

……私たちが、福祉や税金、教育などの問題に悩まされている内に、戦争の計画がここまで綿密になされているとは！自民党にひきつづく民主党政権の防衛政策が、常に日米同盟を基軸にして深化していることを具体的に知る大変良い機会でした。会の例会として企画したのだから、もっと多くの会員が参加する工夫が必要だったと思いました。(昭島在住)



「横田基地もいら ない！市民交流 集会実行委員会」 が発足

「10・9市民交流集会」の「行動提起」に従って開かれた10月31日(日)の「拡大実行委員会・総括会議」(昭和会館)には、九条改憲阻止の会、市民のひろば・憲法の会、横田基地の撤去を求める西多摩の会、横田基地問題を考える会、平和をめざす戦争展 in 立川実行委員会、立川労連、九条の会あきしま、美堀町九条の会、昭島母親連絡会、昭島・憲法を学ぶ会、アンポをつぶせ！ちようちんデモの会、八王子合同法律事務所、羽村平和委員会、立川平和委員会、東京平和委員会などに昭島在住の学生のオプザーバー参加を加えて21人が出席しました。

これは「3・20の集い」後の総括会議と比べて優に倍以上の数で、このこと自体が「3・20の集い」から

の着実な歩みを示すものだと、出席者一同大変喜び合いました。

【おもな総括事項】

- ・ 基地めぐり…… 期待されている。組織的な受け入れ体制をつくろう。
- ・ 映画「流血の砂川」の上映…… 大変評判がよかった。今後はこの実行委員会でフィルムまたはDVDを入手して、上映運動に取り組もう。
- ・ 「伊達判決」や砂川事件の被告の人たちとの学習会も広めよう。
- ・ 滝本匠記者の講演…… 「本土での基地反対運動こそが沖繩の闘いへの真の連帯である」というメッセージが伝わった。東京新聞の半田滋記者と同じように、この地域での滝本記者の講演の機会が増えるだろう。
- ・ デモ行進…… あの雨の中、デモ行進中止の声が誰からも上がらなかったのは驚き。
- ・ 参加者の「横田基地を許さない」決意の熱さに感動。
- ・ 財政…… 収入約58万円、支出約54万円、黒字約5く

4万円の見込み。

【全体的な感想】

- ・ 会場の定員は1060人だが、620名の参加は決して少なくない。成功だった。
- ・ 組織動員ではなく、本当に自分からすすんで参加した人々の集まりだったから。
- ・ 次回こそは、定員1060人の会場を必ず一杯にしよう。
- ・ 横田基地の反対を、地元で、日常的に継続する運動の重要さが認識されはじめている。
- ・ いろいろな人たちが、いろいろな組織で取り組んでいる集会だったことが、成功の原因であるし、今後この結びつきを大切に！
- ・ これから、このいろいろな個人・組織の間での意見や経験の交流、講師の交換など、魅力的な企画を考えよう
- ・ 「国道16号線共闘」(横田―厚木―横須賀など)や都内の練馬、赤坂などでの基地闘争との共同行動＝横の広がり大きくすることも

考えよう。

【恒常的な組織の発足】

- この「実行委員会」を、今後、「横田基地もいらない！市民交流集会実行委員会」に改組することを決定。事務局の強化、簡単な「規約」を決めて、「10・9集会」の参加者、団体に加入を呼びかける。
- 次回の実行委員会の日程12月11日(土) 午後1時30分より(会場未定)

【私の感想】

(盛岡瞳道)

安保に反対し、沖繩の基地闘争を成功させるためには、東京の私たちにとっては、この横田基地に反対する運動が、何よりも重要だという認識が、ある程度の規模で、徐々に広がり始めている―10・9集会に取組んだ多くの人たちが、今その確信を強めています。たとえば、私も10・9集会の1週間前に行われた「第5回日野市民九条の会定期総会」に呼ばれて「なぜ普天間基地はなくなるならぬのか」というテーマで話

をさせてもらった際に、内閣府・政府広報室の「日本の安全を守るための方法」についての世論調査で「現状どおり日米安保体制と自衛隊で守る」という意見がH9年にはまだ68・1%であったのがH12年72・2%、H15年72・1%、H18年76・2%、H21年77・3%と一貫して右肩上がりに増加し続けているのに対して「日米安保条約をやめ自衛隊も縮小する」意見はH9年7・9%、H12年5・8%、H15年4・7%、H18年5・8%、H21年4・2%と減少し続けているグラフを示しながら「それは、私たち本土の者が自分たち自身のまわりの基地に反対する運動をお座なりにし、本土の安保支持の世論を変える地道で困難な努力を怠っていないからだ」と述べました。

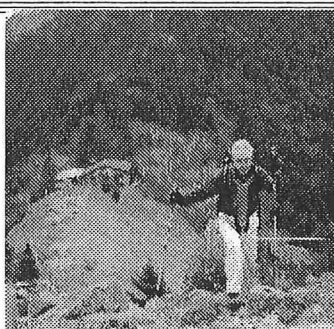
ところが、その定期総会に出席しておられた日野市民の方が、10・9集会に数名で参加され、さらに、10・17の「横田基地の撤去を求

(4面につづく)

(会員インタビュー)

河原 昭治さん

毎朝早朝に六道山をウォーキング



1957年中学を卒業、三鷹の富士重工に入社、旋盤工として23年間勤務しました。60年安保は、「フランスデモ」を三池闘争は「地底の歌」「がんばろう」で青春を過ごしました。

1980年厚生会に転職し施設管理の仕事をしながらか組合活動をし、皆さんの協力で組合委員長も定年まで勤めました。医療改悪反対「看護婦を増やして!」「看護婦確保法」を全国的に署名活動に取り組み週刊誌などにも大きく取り上げられました。

2002年定年となり5年間の嘱託後、地域のみなさんにお世話になっています。党員としての支部活動・後援会・国民救援会健康友の会・民医連退職者の会・元気に100歳の会などに通っています。健康を兼ねた楽しみで月2回登山に挑戦しています。また、住宅の仲間と狭山丘陵を歩き、その後赤ワインを飲みながら政治談議です。領土問題・TPP・教育問題・財政についてなど好き勝手に話します、楽しい時間です。そのためにも、毎日早朝の六道山ウォーキングは欠かせません。私の趣味は「うたごえ」となかなか上達しない「ウクレレ」です。

【用語解説】 北関東防衛局

防衛省の地方防衛局のひとつ。2007年に東京防衛施設局から改組。

本部は、さいたま市中央区のさいたま新都心合同庁舎2号館にある。下部組織に、百里防衛事務所、宇都宮防衛事務所、前橋防衛事務所、千葉防衛事務所、横田防衛事務所、新潟防衛事務所、小笠原出張所がある。管轄区域は茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、新潟、長野の1都7県。

下部組織の横田防衛事務所(福生市熊川)は、東京都(特別区、清瀬市、大島支庁管内、三宅支庁管内、八丈支庁管内及び小笠原支庁管内を除く)、埼玉県(川越市、秩父市、所沢市、飯能市、東松山市、狭山市、入間市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、入間郡、比企郡、秩父郡)と小笠原出張所(硫黄島及び南鳥島等を含む)で担当する。

(3面からつづく)
める西多摩の会」第19回「座り込み行動」にも参加されて、「私たちは、日野で毎月9日に街頭で宣伝しているが、沖繩の基地反対を訴えても、こんな近くにある横田基地のことはただの一度も訴えてこなかった。本当に反省している」と、

座り込みの人たちの前で挨拶されていました。
このように、私達の第一歩の3・20市民交流の集いと第二歩の「10・9市民交流集会」は成功しました。
このあとの第三步、第四步をどのように続け、踏み出して行くか。10・9集会に取り組んだ人たちは、真

剣に、その模索を始めています。
次回の集会の規模についても、2千人、3千人などとも背伸びをしないで、「次は1060人の会場を必ず一杯にしよう。そして、何よりも自ら横田基地反対の声を上げる個人・団体を増やすことが大切だ」という確

認が深まりつつあります。
私は、この団東支部ニュースで、しつこく「東京の私たちが、安保をなくし、沖繩の基地闘争を成功させるためには、なにをおいても、横田基地反対の運動を!」と何度も投稿させて頂いているおかげで、「10・9集会」には、八王子合同の金子さんたちの参加があり、10・31「拡大実行委員会」

総括会議」には、あの多忙な尾林団員が出席してくれました。
やっぱり、継続は力だと思います。
どうか、これからも、横田基地反対の運動に、是非とも、皆さんの智恵と力をかしてください。
なにとぞ、よろしくお願い致します。